

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【愛媛県】

学校名【愛媛県立大洲高等学校】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 582名 教職員20名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	2020年東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するとともに、オリンピック・パラリンピックの理念の普及・浸透を通じて、スポーツの価値の理解の深化、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等を促進し、もって「スポーツ立県えひめ」の実現に資する。
5 取組内容	(1) 事前学習 ○オリンピックとは？ ○オリンピックの歴史 ○東京オリンピック・パラリンピックについて ※「I'm POSSIBLE」使用 (2) 当日 ○オリンピック専任コーチ（尾野藤直樹） オリンピック（小松正治、多田羅英花）との交流 ・講演「オリンピック選手に求められる自己管理能力」 ・質疑応答 ・模範試技（エルゴメーターで生徒が小松選手、多田羅選手勝負） ・放課後にカヌー部のエルゴメーター指導 ・翌日にカヌー部の乗艇指導



(3) 事後指導
 ○感想をまとめる。

<p>6 主な成果</p>	<p>○事前指導で「I'm POSSIBLE」を使用したため、その後の感想には、パラリンピックに興味・関心を持ち、東京オリンピック・パラリンピックを楽しみにしているという生徒が多くみられた。</p> <p>○一流の選手のプレーを間近で見たり、話を聞いたりしたことで、カヌーに対する興味・関心が高まったと考えられる。</p> <p>○小松選手や多田羅選手の出場するオリンピックを注目して観戦しようという声が多く上がった。</p> <p>○アスリートにとって大切なことについて、尾野藤氏の「傾聴力(聞く力)、主張力(自分の考えを伝える力)、GRIT(やり抜く力)」、小松選手の「応援されるアスリートになる」、多田羅選手の「人間力の形成」などの言葉を聞き、部活動や受験に対する意識の向上につながった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックに対する興味や知識のない生徒に学習意欲をもたせるために、内容をクイズ形式にしたり身近な話題を取り入れたりして事前指導した。</p> <p>○一流選手と対戦形式でエルゴメーターを行い、モニターにレースの様子が映し出されることで、生徒全員が楽しむことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○質疑応答や模範試技などで生徒が関わる場面では、雰囲気も盛り上がった。話を聞くだけの時間が長くなると集中が続かない生徒が何人かいた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○岡田武史氏や福西崇史氏の講演を希望している。</p>